

(別添)

国産原材料サプライチェーン構築事業に関する事業評価シート

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標値									整備事業	事業評価の検証方法	費用対効果分析関係		事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の意見
						生産者～中間事業者			中間事業者～食品製造業者等			食品製造業者等～協賛会外					計画値	結果			
						現状値 (20年)	目標値 (26年)	実績 (26年)	現状値 (20年)	目標値 (26年)	実績 (26年)	現状値 (年)	目標値 (年)	実績 (年)							
沖縄県	国頭村 東村 名護市 大宜味村 今帰仁村 本部町 宜野座村 恩納村	沖縄県北部シーワサー国産原材料供給・利用協議会 沖縄総合農産加工株式会社	果樹(シーワサー)	21年度	国産原材料の供給力の向上 (生産者が生産した原料の中間事業者への出荷量を55%増加させる。) (当該取引施設における全出荷量のうち中間事業者から食品製造業者への出荷量の割合を25%とする。)	—	55%	-27%	—	25%	82%			選果機 選果機室	生産者、中間事業者、食品製造業者の取引契約書及び取引伝票から算出。	1.87	3.64	1	2	当事業では、GAP・トレーサビリティを導入した生産者から加工・販売までのサプライチェーンを構築した。 目標年(26年)は、平成22～24年の台風被害から出荷の回復がみられ、開花・着果とも良好で、ここ数年で最も生産量の多い年となった。 しかし、台風来襲後の短期間に加工場へ処理能力を大幅に超えるシーワサーが集まり、中間事業者が全量を集荷できなかったことや過去の台風被害による生産量減少からマーケットが縮小されたこと等から生産者から中間事業者への目標出荷量は未達成となった。 一方、中間事業者から食品製造業者への目標出荷量は達成した。 整備事業については、導入した選果機の利用率も前回評価時の33.1%から155.0%へと向上し、施設は適正に利用されている。 今後は、シーワサーの増産に向けた取り組みにあわせ、台風時の農家の指導の徹底と更なる増産に向けた取組の強化を事業実施主体に対して改善指導を実施のうえ、改善計画を策定させる。	
沖縄県	国頭村 大宜味村 東村 名護市 今帰仁村 本部町 宜野座村	沖縄県北部バインアップル国産原材料供給・利用協議会	果樹(バインアップル)	21年度	国産原材料の供給力の向上 (協議会内出荷量を10%増加させる。)	—	10%	-61%	—	10%	-61%				生産者、中間事業者、食品製造業者の取引契約書及び取引伝票から算出。			1	1	当事業の実施で食品加工業者等への原料供給体制が整えられ、生産から加工・販売までのサプライチェーンは構築されている。 しかし、近年、度重なる台風の影響と農家の高齢化によりバインアップル収穫面積は年々減少を続け、それに伴い生産者の出荷量が増加しなかったことから、平成26年度も目標未達成となった。 しかしながら、事業実施主体においては、担い手の育成支援や優良種苗の供給や生産基礎強化対策等を進めながら、徐々に作付面積は拡大している。 今後は、台風対策の徹底と栽培面積の拡大を図るなど事業実施主体に対して改善指導を実施のうえ、改善計画を策定させる。	